

川原ちかよ
KAWAHARA CHIKAYO



6月3日京都市生まれ。学生時代からα-STATIONでADとして働く。ある深夜番組に出演したところ、大阪の深夜局からDJオーディションの誘いを受ける。1996年、DJデビューを果たす。

α STATION
FM KYOTO 89.4

SPECIAL INTERVIEW



電波にのせる真っ直ぐな言葉には あったかい愛が溢れている

いくつもの縁に支えられて

局でバイトを始めたきっかけは、局前のコンビニでバイトしてたから。オンエア後に買い物に来るスタッフと仲のいいおばちゃんが「うちの子がバイトしたいって言うてるんよ〜」って(笑)。入って担当したのがキヨビ

の番組で、よくごはん食べにいったり、おしゃべりしたり。私はその頃からドラマオタクで、1度見たらだいたいセリフが覚えられる特技を持っていて、キヨビが見逃したドラマの再現をやってみました。そしたら、深夜番組に出てみないかって言われて、その収録を見たプロデューサーの方に大阪の放送局のオーディションの話をお願いして。気づけばDJになってまし

た(笑)。来る波に逆らわず身を任せて10年。本当にいろんな人に助けてもらってます。こんなにも他力本願でやってきてる人も珍しいんじゃないかって思いますよ(笑)。

人生最大のピンチ！

事務所に所属することなく、いきなりフリーのDJになったので、最初の3年はワケの分からないまま突っ走ってたって感じですね。5年目くらいまでは、「ああ、また今年もDJができる」って毎年思ってた。やっとな、周りを見渡せる余裕がでてきて、それまで怒られてきたことの真意や、やってきたことの意味なんか解ってくるようになって。そうするとブレッシャー

Kawahara Chikayo

も倍増。頭張りすぎて、過労とストレスで病気になるってしまった。復帰できるかどうか分からず、ラジオを聴く気持ちにもなれなくて、捨かれてた時期。待つてくれるスタッフさんや友だちの応援に、帰る場所があるから早く治そうって思ってたけれど、ラジオにあたたかみを感じる事ができない。でも、番組改編で担当していた番組が終わることもあって、半ば無理矢理に復帰。そしてリスナーさんたちが、私が大ファンの「THE YELLOW MONKEY'S LOVE LOVE SHOW」を揃ってリクエストしてくれました。ファンサイトで呼びかけてくれたらしくって、もう、ビックリするやら、嬉しいやら。こんなふうにラジオでコミュニケーションが取れるんだなあって再確認して、仕事に対する気持ちが変わりました。

リスナーとのコミュニケーション

DJになってよかったと思うのは、やっぱりリスナーさんとコミュニケーションがとれた瞬間！ いまの番組はリクエスト番組なので、リスナーさんとの関係が大切です。彼らの悩みを真剣に受け止めてあげようって、いつも思ってます。下は11歳と、かなり若い人が多いんですけど、「2年経ったら平気になるとか分かる、分かる！」って軽く流したくない。私のときはこうやってたけど、今はどうなんかな？とか、自分の体験談を語ったり。「電車の向かいにヘンな人が座ってて、友達に電話するわけにもいれないからメールした」ってメッセージとかありますよ(笑)。だから、オシャレとか、ザFMってトークは考えてなくて、カリスマジJになれなくてもいいと思ってます。気軽に、親しみを持ってもらえれば十分。そのためにも、「知ったかぶり」はしないし、リスナーさんたちとは真っ直ぐ向き合っていたいんです。



DJ's Favorite Item

「深夜のラブレターを見られるより恥ずかしい(笑)」というリングノートは、ストップウォッチに次ぐ必須アイテム。インタビュー前に、アーティストについての思いを書き綴ったもの。前夜、ベッドで「一人ラジオ」をする中で思いついた質問や、気になる歌詞、暗号のような言葉が並んでいる。「川原ちかよ語録」が満載。



STARDUST PARADE

毎週月～金 22:00～24:00

DJ: マツモトアキノリ(月～木)、川原ちかよ(金)

J-POPのヒットチューンを中心に、話題のポップスをセレクトしていく青春リクエストプログラム。遊び心いっぱい「同世代の今」を伝えてくれる。月曜～木曜はマツモトアキノリさん、金曜は川原ちかよさんが楽しく「スタパレ・ウィークエンド」として、人気のJ-POPアーティストインタビューや最新情報もちりばめてお送りする2時間。